

パロマ清洲工場および本社ビルでコロナワクチン職域接種がスタートしました。

株式会社パロマ（愛知県名古屋市/代表取締役会長兼社長：小林弘明）は、6月24日（木）に愛知県清須市にあるパロマ清洲工場内において、コロナワクチン職域接種をスタート致しました。また、7月2日（金）には名古屋市瑞穂区の本社ビルにおいても同じくワクチン接種をスタートしました。



清洲工場での接種の様様（↑）



本社ビルでの接種の様様（↑）

接種規模は、清洲工場においては1,500人を予定。1回目の接種終了が7月10日、2回目接種終了が8月7日を予定しています。また本社ビルにおいては1,600人が接種を予定し1回目の接種終了が7月17日、2回目接種終了が8月14日となっています。両会場ではパロマの従業員やその家族に加えて、清洲工場では近隣の大学の教職員・学生の皆さま、本社ビルでは近隣の企業や小中学校の教職員の方が接種を受ける予定です。また、九州にあるパロマ直方工場においても、7月21日より職域接種が始まりパロマの従業員やその家族に加えて、近隣の企業の皆さまが接種を受ける予定です。

以上

<p>本件に関するお問い合わせ先 株式会社パロマ 広報室 : 052-824-5251 (直通)</p>
--

内容は発表時のものです。ご覧になった時点で、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。